

朗報

ロボカップジュニア並みの授業が可能で
手ごろな価格のロボットキットが学校向けに発売開始!

自律型ロボット 製作キット

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁

オルカ

ジュニア

ツー

ORCA Junior 2

仕様

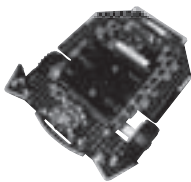
大 小 寸 : 縦 15 × 横 14 × 高さ 6cm、最大長 18cm
重 量 : 335g (アルカリ電池装着時)
本体電源 : モーター駆動 4.5V (単 3 電池 × 3 本)
制御電源 : 5V (DC-DC コンバータ内蔵)

部品構成

メインボード (CPU : PIC18F2420)	1 個
モータードライバー (Hブリッジ FET、PWM 制御)	2 個
赤外線ボールセンサー	1 個
グレーセンサー	1 個
タッチスイッチ (ダイセンオリジナル)	3 個
ギヤードモーター (ダイセンオリジナル)	2 個
タイヤ (タミヤトラックタイヤ 36mm 径)	2 個
ボールキャスタ (ダイセンオリジナル)	1 個
シリアル通信ポート (Dsub9 ピン)	1 個

問い合わせ先

株式会社ダイセン電子工業
Tel : 06-6631-5553 Fax : 06-6631-6886
E-mail : ddk@daisendenshi.com
URL <http://www.daisendenshi.com/>



あの Top Junior One の発売開始から約 2 年 最新の後継機は、一回り小さくなり、 「個人持ち」が可能な、 制御学習用の本格的なロボット教材となった

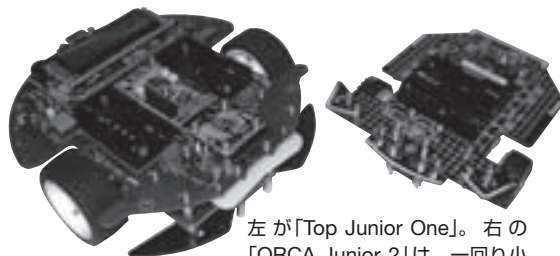
昨年夏の本誌 No.41 で紹介したロボットキット「Top Junior One」を覚えているだろうか。2005 年のロボカップジュニアに彗星のごとく現れた「Top Junior One」は、大阪発の新たなロボットキットとして注目を集めた。

大阪ブロック大会にあわせて、2004 年末に発売が開始された「Top Junior One」は、もちろん今でも現役で活躍している。しかし、その高性能に比例して、販売価格もそれなりであったため、学校で用いる教材としては予算的に導入が容易でなかった。導入が許されたとしても、1 人 1 台の割り当ては難しく、数人のグループで 1 台を用いて学習することにならざるをえない。

今回の「ORCA Junior 2」は、そうした先生方の声が聞き入れられて、「Top Junior One」の発売からわずか 2 年で開発・発売にいたったものだ。配線のほとんどない頑丈な設計や、アイコンを並べるタイプのプログラミングソフトでありながら、高度なプログラムの作成まで行える「C-Style」の付属など、「Top Junior One」の特長はそのままに、1 人 1 台の「個人持ち」が可能な価格 (非公開) が設定されている。

残念ながら、学校などの教育関係者向けのロボットキットなので、「ORCA Junior 2」が市販

されることはないが、それに準ずるロボットキットは「Top Junior」シリーズとしての一般向け発売が検討されている。まったく同じものにはならないだろうが、仕様はほぼ同じになりそうなので、次ページ以降の「ORCA Junior 2」の話はその購入の際の参考になるはずだ。



左が「Top Junior One」。右の「ORCA Junior 2」は、一回り小さいのがわかる。